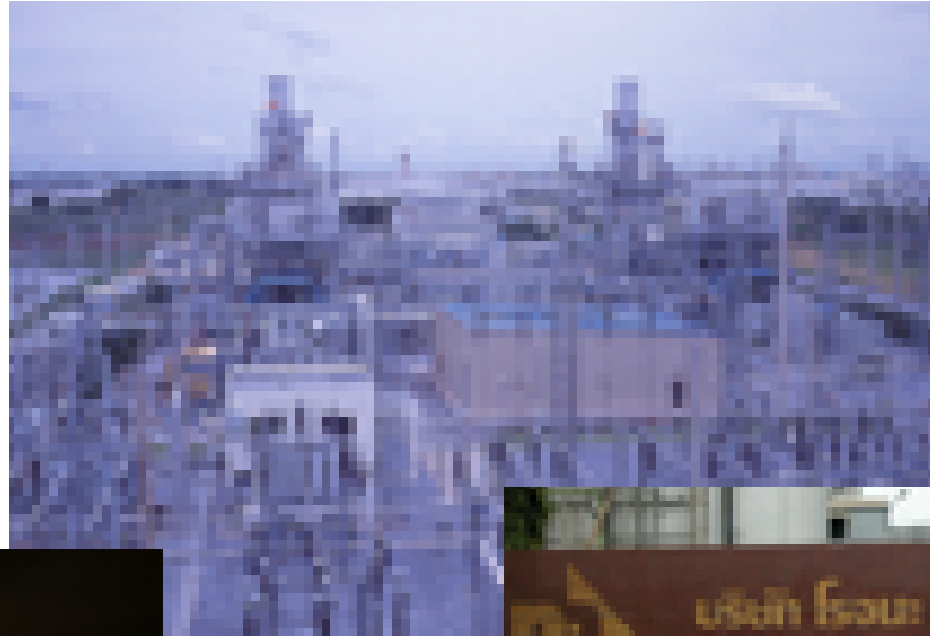
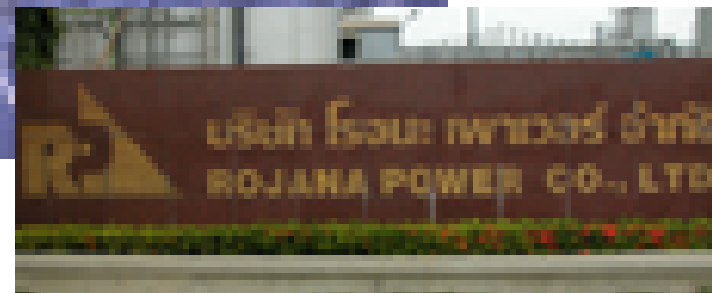


海外事業

アジアから世界を視野に、活動の舞台は大きく広がっています。



タイ / ロジャナパワー

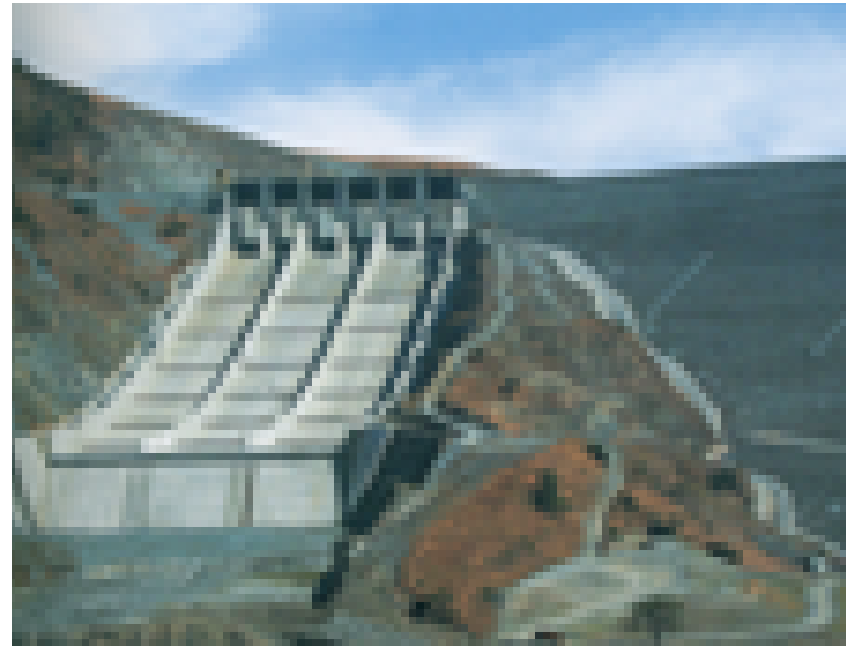


フィリピンでの「サンロケ多目的プロジェクト」やタイ「ロジャナパワー」など、海外でも多方面にわたり積極的に事業を展開。国際社会が直面する重要課題を解決するために、技術協力による貢献も期待されています。

タイ / ロジャナパワー



シンガポール / セラヤ第一火力発電所



フィリピン / サンロケ

グローバルに展開する多彩なプロジェクト

関西電力は、1998年に、日本の電力会社として初めての海外の発電事業（フィリピンにおける水力発電事業）に参画しました。このプロジェクトは、建設から25年間発電所を運転した後に設備をフィリピン国に譲渡するBOT（Build, Operate and Transfer）方式による海外卸発電事業で「サンロケ多目的プロジェクト」と呼ばれています。このプロジェクトに引き続き、関西電力は「東欧省エネルギー・排出抑制基金」への参画、当社で不要となったガスタービンを米国で有効活用する「ナニワプロジェクト」、当社のLNG輸送やLNG受入基地運営の経験を活かした「台湾北部LNG基地プロジェクト」、タイにおいては、天然ガス焚きコジェネプラントを所有するロジャナパワー社の株式を取得し、経営参画するなど、多方面にわたり積極的な海外展開を図っています。

海外コンサルティング事業の推進

関西電力は、自社が持つオリマルジョン燃焼技術を高く評価され、シンガポールにおいてセラヤ第一火力発電所の燃料転換に当たってのコンサルティングを受注いたしました。本コンサルティングは実際の工事の各段階にわたって行うもので、2005年度まで継続して実施する予定です。今後ともこうしたコンサルティング事業を通じて、ビジネスチャンスの発掘に努めます。

地球規模の重要課題に対する積極的な取り組み

「地球温暖化問題」や「持続可能な発展」といった、国際社会が直面している重大な課題に取り組むためには、世界規模の協力が必要不可欠です。原子力発電・省エネルギー・環境保全などに関連する技術移転に対して、民間セクターの中でも電力会社が果たせる役割は大きく、当社に対してもさらなる貢献への期待が高まっています。

このような背景から、当社は次の3つをはじめ、多くの国際プロジェクトに参加しています。

- 持続可能なエネルギー開発の促進をめざす国際組織への積極参加
- 温室効果ガスの排出削減に向けた発展途上国との共同実施活動の実施
- 途上国における電力と環境に関連する人材開発活動の実施

関西電力は、今後も自社の技術やノウハウを活用して、気候変動の緩和など地球規模の重要課題の解決にも貢献してまいります。

